


米国・オカシオ-コルテス現象について

(2019/02/25 作成 )

【はじめに】

○なぜ欧州ではなくアメリカの反緊縮ポピュリズムの動きが重要なのか？

→ 対米従属甚だしい日本の政界やマスコミも「アメリカの政界の動き」には、一目置いてくれる可能性がある

アメリカの議会

- ・上院は、州の代表で、軍事・外交を担当
- ・下院は、国民の代表で、税制や社会保障を担当

2018年の中間選挙で民主党が下院を奪還したことにより、
今、民主党にはすごく勢いがある。

その勢いの源泉が、サンダースが送り出し、
初当選した29歳の元ウェイトレス、**オカシオ-コルテス**



【オカシオ-コルテスの台頭】

オカシオ-コルテスら民主党・進歩主義派の政策（三本柱）

① GND = **Green New Deal**

環境保全・気候変動・再生可能エネルギーに対応したスマートな**インフラ整備**、
さらに**国民総雇用保証**と**国民皆保険**を目指す

（② JGP = Job Guaranteed Program 国民総雇用保証、③ MFA = Medicare for All 国民皆保険）

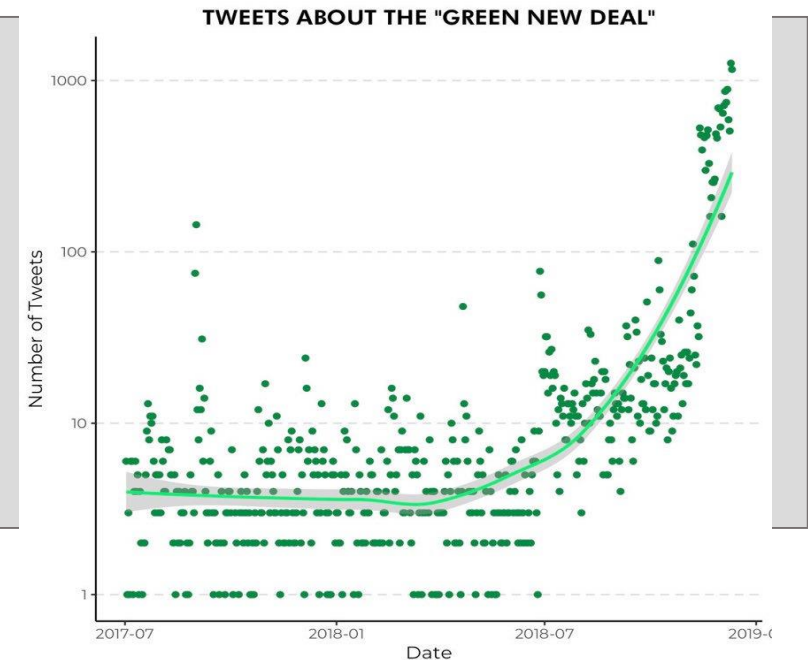
→ 環境保全分野に投資し、産業構造を転換することで、**新しい形の雇用**が生まれる！

下院議長ナンシー・ペロシと全ての大統領候補、さらに70人の民主党議員がすでにGNDに賛同し、
オカシオ-コルテスは気候変動委・予算編成委の部署へ異動

オカシオ-コルテスが当選した18年11月から
グリーンニューディールに関する話題が沸騰した！
(ツイート数では約100倍増)

<https://www.vox.com/energy-and-environment/2018/12/21/18144138/green-new-deal-alexandria-ocasio-cortez>

(* GNDはもともとはオバマとアル・ゴアらが提唱したもので、今回復活)



2019年、2月7日、29歳の新人議員オカシオ・コルテスは、

同僚のエド・マーキー議員と「**グリーンニューディール法案**」を公表した。

<https://edition.cnn.com/videos/tv/2019/02/07/alexandria-ocasio-cortez-green-new-deal-q--a-ed-markey-sot-cnngo.cnn>

<https://www.congress.gov/bill/116th-congress/house-resolution/109>

<https://thehill.com/policy/energy-environment/428902-ocasio-cortez-unveils-green-new-deal-climate-bill>

グリーンニューディールを実現させるためには**10年間で7兆ドル(770兆円)**以上が必要といわれている
(オカシオコルテスらは正確な金額には言及していないものの、金額は試算で7~32兆ドルと言われる)

<https://thehill.com/policy/energy-environment/428457-ocasio-cortez-starts-to-fill-in-details-of-green-new-deal>

でも、財源はどうするんでしょう？

「グリーンニューディールを成功させる方法に関しては、富裕層課税などいくつかの財源創出方法があります」

「政府の赤字支出は良いことです。そしてグリーンニューディールを実現させるためには、**財政黒字こそが経済にダメージを与えるとするMMTの考えを、“絶対に”私たちの主要議論にする必要があります**」

(アレクサンドリア・オカシオ-コルテス 民主党 米下院議員)

<https://www.businessinsider.com/alexandria-ocasio-cortez-ommt-modern-monetary-theory-how-pay-for-policies-2019-1>

経済史の事実からも、**政府支出が100%税金によって賄われているわけではない**ことがわかります。経済成長につながらない減税法案を出している共和党も、このことには同意するでしょう。私はこれが賢明な投資なのだと言いたいのです。

1ドル減税しても1ドル未満の利益にしかなりませんが、1ドル投資をすれば1ドル以上の利益を得られます。本当です、利益が得られるのです。

(アレクサンドリア・オカシオ-コルテス 民主党 米下院議員)

<https://www.youtube.com/watch?v=EYc9uaIT0oo>

「雇用、格差是正、インフラ整備、貿易、退職保障および教育に対して、(国債発行して)**赤字支出をしなければなら**ない。例えばインフラに5年で1兆ドル以上の投資をすれば、1300万の高給の雇用を創出できるでしょう」

(バーニー・サンダース 無所属 米上院議員・大統領候補)

<https://thehill.com/policy/finance/230692-budget-ranking-member-lays-out-plan-to-eliminate-economic-deficits>

「政府預金(税収)で支出増加を賄うとする議会の現在のやり方は、全く意味をなしません。教育やインフラ、人々や国内企業への投資など、時間の経過とともに本当の価値を生み出す投資があります。そういったことを我々の政府会計では考慮すべきです」

エリザベス・ウォーレン上院議員(民主党 次期大統領候補)

(*ウォーレンはMMTを完全に採用しているわけではないが、財政赤字と支出に関する考えは取り入れている)

<https://www.politico.com/story/2019/02/06/alexandria-ocasio-cortez-budget-1143084>

【オカシオ-コルテスらの経済アドバイザー】

上記のようにサンダースやオカシオ-コルテスら民主党系議員は口を揃えて「赤字支出を財源としてインフラや福祉に投資する」と発している。

この理論は、サンダースが設立したサンダース・インスティテュートのフェローとして名を連ねている、MMT/積極財政派のステファニー・ケルトン、ヤニス・ヴァルファキス、ジェフリー・サックスら経済学者のサポートの賜物である。

▼サンダース・インスティテュート フェロー

<https://www.sandersinstitute.com/about/fellows>



ステファニー・ケルトン教授

【ステファニー・ケルトン教授】

サンダース・インスティテュートの中心人物で、MMTの代表格とされるステファニー・ケルトン教授(NY州立大学)の発言を追ってみよう。

ステファニー・ケルトン (上院予算案委員会に属する民主党議員の経済アドバイザー、サンダースの経済顧問)

<https://twitter.com/StephanieKelton/status/1093575469440618496>

Stephanie Kelton @StephanieKelton 認証済みアカウント 2019年2月7日

Q: グリーンニューディールの財源はちゃんと確保できるのでしょうか？

A: はい、連邦政府は、**本国通貨**で売りに出されているものは何でも購入することができます。

Q: あなたは、政府は新規の支出のためにただ「カネを刷ればいい」というのですか？

A: 逆に他にになにか方法があるんですか？

Q: 他の方法ですって？ 税率を上げられるじゃないですか！

A: そういうものではないのです。政府が国民経済に注いだお金の一部を、税は吸収してしまいます。支出と税収を同額にすることもできるかもしれませんが、でも政府はふつう、税収より多くのお金を支出していますし、それによって市場にはより沢山のお金が出回りますよね

Q: いやいや、それは(国債発行による)赤字支出じゃないですか？あなた、まーた政府債務を積み上げるんですね？

A: いいえ、国債を買うためのドルは赤字支出からくるものではありません！ それは、そもそも「借り入れ」ではありません。人々がドルと国債を交換したときには、政府が発行したおカネを別の形で持ちかえたというだけのことです。

Q: でも、結局、我々は負債を返済する必要がありますよね？

A: 政府は常に国債を償還しています。簡単ですよ。国債の売り手[※多くは銀行]の口座の証券の項目を引き算して、中央銀行預け金の項目を足し算するだけです。これをNY連邦準備銀行はキーボードを叩くだけで終わらせるんです。

Q: しかし、利子の支払いはどうなるんですか？ 利払いによって使用可能なお金は少なくなりますよね？

A: それは間違いです。政府が利子を支払う方法も、あらゆる支払いと同じです。いつだって何にでも支払いが増やせます。その上限を決めるのが物価上昇率なのです。

Q: じゃあ借金の利息は問題にならないってことですか？

A: 経済状況が生産能力の限界に達すると、どんな支出もインフレのリスクを伴います[※民間消費も、輸出も、という意味]。もし人々が受け取って支出している金利収入が大きすぎれば、FRB（米国の中央銀行）は金利を引き下げればいいのです。あるいは、議会が支出を減らしたり増税すればいいのです。

Q: ということは、何か増税をしなくてもグリーンニューディールができるということを言ってるのですね？

A: それはグリーンニューディールの内容次第です。そしてGNDが施行された時点で、米国経済の生産能力に余裕があって、提案されている支出分を消化できるかどうかによりますね。

Q: え？でも私たちはずっと何兆ドルものお金の話をしていたじゃないですか！？

A: 例えば共和党は、5兆ドルを超える減税と戦費支出をしましたが、インフレは進みませんでした。それに比べればGNDは経済の生産能力を拡大させるでしょうから、安全に財政支出えきる余地は増えると思います。

（*トランプは10年で1.7兆ドルの公共投資を約束、10年間で1.5兆ドル規模の法人税減税を実現、軍事費は年間0.7兆ドルを計上しているが、ケルトンの「5兆ドル」の根拠は不明）

Q: ナンシー・ペロシ下院議長はこのインタビューを読んでもくれますかね？

A: さあ、わかりません。アレクサンドリア・オカシオ-コルテス(@AOC)なら読むと思いますよ。

ケルトン教授の別の発言をもう2件追加する

記者： 人々がGNDの財源(国債を大量に発行し赤字支出する)について考える時、どうしても第二次世界大戦を連想してしまいます。

ケルトン： 実際に第二次世界大戦では似たような財政政策が講じられていましたが、まずこの法案はクリーンで安全、米国を繁栄させるためのものですので、ご心配には及びません。
有名なケインズの「戦費調達論(How To Pay For War)」は、過度なインフレを起こさずして、どのように消費財の生産を中心とした経済から戦争をするための生産を中心とした経済へと転換させるかが書かれていましたが、ここで重要な点は(それと逆のことをやっても)インフレがコントロールできるということです。

<https://www.bloomberg.com/news/videos/2019-02-07/the-economic-impact-of-the-green-new-deal-video>
https://en.wikipedia.org/wiki/How_to_Pay_for_the_War:_A_Radical_Plan_for_the_Chancellor_of_the_Exchequer

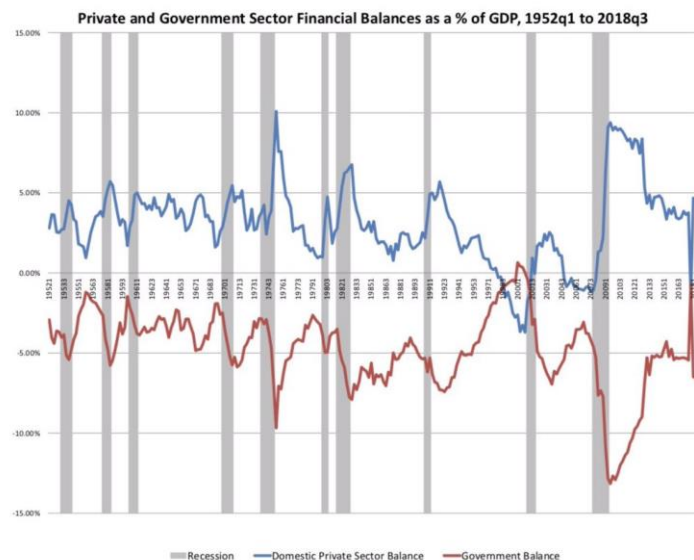
ケルトン教授

「政府の赤字支出が民間貯蓄からどのように
“引き算される”のか、民間投資のクラウディングアウト
を招くのか、もう一度教えてください。

冗談でおっしゃっているんですか？」

(「これを見ても政府の赤字支出と民間貯蓄が
バランスしないと言えるのか」という意味で)

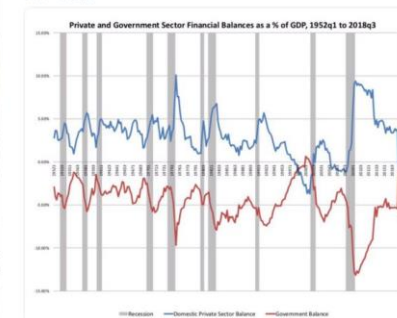
<https://twitter.com/StephanieKelton/status/1102405698447642625?s=19>



Stephanie Kelton
@stephaniekelton

Tell me again how government deficits
subtract from private savings and lead to
crowding out of private investment. AYFKM

📍 ツイートを翻訳



12:09 - 2019年3月4日

【パラダイム・シフトが、アメリカで起こりつつある】

オカシオ・コルテスが上述したビジネス・インサイダーの記事で「MMT」について語ったことで、全米では「MMT」や「赤字支出は良いことなのか？」というような話題が沸騰している。

ビジネスインサイダー、ブルームバーグ、ウォールストリート・ジャーナル、フィナンシャルタイムズ等のビジネス/経済誌のみならず、NYタイムスやワシントンポストのような一般紙、PoliticoやVoxのような政治専門メディア、またはFOXやCNN、MSNBC、CNBCのようなテレビ番組、さらにはローリング・ストーンやWiredなどのカルチャー誌でも、MMTについて語られることとなり、オカシオ・コルテスやケルトン教授は引っ張りだこの状況となった。

NYタイムスでは、米国では「財政赤字や国債発行を悪いこと」とする言説が、保守・リベラル、政治家・経済学者に関わらず拒否されつつあるとして、IMF元首席エコノミストのブランチャード、オカシオ・コルテス、トランプの例を挙げて特集している。

<https://www.nytimes.com/2019/02/23/upshot/how-america-learned-to-stop-worrying-and-love-deficits-and-debt.html>

オカシオ・コルテス自身もイギリス労働党党首のジェレミー・コービンと「国境を越えた運動を作ることを目標としよう」と電話で会談し、交流を始めた。また、サンダースはギリシャのヴァルファキスと「プログレッシブ・インターナショナル」という同盟を組むなど、世界中の反緊縮派が連帯しつつある状況だ。



<https://www.independent.co.uk/news/uk/politics/alexandria-ocasio-cortez-jeremy-corbyn-phone-call-twitter-labour-congress-a8761806.html>

<https://diem25.org/diem25-teams-up-with-the-sanders-institute-to-launch-the-progressive-international/>

【最後に】

「もっとスケールの大きな話をしようぜ！」と、矢沢栄吉ばりにローリング・ストーン誌のインタビューに答えるオカシオ-コルテス

▼ Alexandria Ocasio-Cortez Wants the Country to Think Big

私にとっての最大の課題は、常識の枠を変える(Move the Overton window)ことです。私は新米ですから、あらゆる方法を使います。議論の枠を変えることが力になります。もし私の、議員としての時間が4日間しかなかったら、何よりも私は富裕層の最高税率に関する議論を巻き起こします。

(中略)

かつて、大不況から脱出した方法は何か、それは大規模な公共投資です。そして、人々が志を高くし、この国の可能性を信じることです。ちよつとずつ変えてゆこうという了見ではダメです。私達にはMoonshot(月ロケット打ち上げ)が必要なんです。

(アレクサンドリア・オカシオ-コルテス 民主党 米下院議員)

<https://www.rollingstone.com/politics/politics-features/alexandria-ocasio-cortez-congress-interview-797214/>

付録【MMTの特徴】

- ・経済政策を提示しているのではなく経済システムのあり様を説明している
- ・公共部門の赤字は民間部門の黒字に等しい → ISバランス式: $(G-T) = (S-I) - NX$
- ・統合政府論 (統合政府自身が貨幣創造をファイナンス)
- ・インフレ目標に達するまでは政府支出可能
- ・内生的貨幣供給 (民間銀行での信用創造の場合、銀行の貸出から預金が生まれる。「Money creation by government spending」)
- ・租税貨幣観 (貨幣は国家がそれを租税手段として認めることによって、モノやサービスとの交換及び貯蓄として活用できるようになった。国定信用貨幣論)
- ・機能的財政論 (国債は国内で消化される「内国債」である場合には、その金利は国民の負担とはならない。「右のポケットから左のポケットに移すようなもの」)
- ・日米英のような国は破産しない (条件: 中央銀行が自国通貨を発行、変動相場制、不換貨幣)
- ・固定金利? (0%でなくてもよい)
- ・JGP = Job Guaranteed Program(国民総雇用保証) = 完全雇用
- ・焦点は実物資源であって貨幣ではない
- ・OMF(Overt Monetary Financing≡明示的貨幣ファイナンス)も適用 (財政ファイナンスやヘリマネのような考え方)

MMTリンク

<http://econdays.net/?p=10108>

<https://togetter.com/li/1006899>

<https://econ101.jp/%E3%83%93%E3%83%AB%E3%83%BB%E3%83%9F%E3%83%83%E3%83%81%E3%82%A7%E3%83%AB%E3%80%8C%E8%B5%A4%E5%AD%97%E8%B2%A1%E6%94%BF%E6%94%AF%E5%87%BA-101-part-1%E3%80%8D%EF%BC%882009%E5%B9%B42%E6%9C%8821%E6%97%A5/>

<https://dic.nicovideo.jp/a/%E6%A9%9F%E8%83%BD%E7%9A%84%E8%B2%A1%E6%94%BF%E8%AB%96>

<https://blogs.yahoo.co.jp/metamorphoseofcapitalism/36653235.html>

<https://econ101.jp/%E3%83%93%E3%83%AB%E3%83%BB%E3%83%9F%E3%83%83%E3%83%81%E3%82%A7%E3%83%AB%E3%80%8C%E6%98%8E%E7%A4%BA%E7%9A%84%E8%B2%A1%E6%94%BF%E3%83%95%E3%82%A1%E3%82%A4%E3%83%8A%E3%83%B3%E3%82%B9%EF%BC%88omf/>

<http://d.hatena.ne.jp/NakamuraTetsuji/touch/20170111/p1>